

講義内容

科目名

医療薬学特論 I

概要

薬物治療について臨床薬学的な観点から評価し、望ましい対策を講じることができるような必要知識と技能を習得する。

臨床開発・薬効評価の仕組みについて理解を深めることで臨床試験に係るマネジメント手法、および多様化する薬物治療に対して臨床研究から得られた根拠を還元できるような手法を習得する。

科学的に明確な根拠に基づく質の高い医療を実践でき、高度な医学・薬学研究の成果をもとに臨床視点からの洞察力を備えた人材を養成することを目的とする。

実施日時	講義内容
令和4年 11月12日(土)	1限 医薬品の有効性に関する判断と価値を理解するために、医薬品開発における薬物動態評価、臨床開発における薬効評価の仕組みおよび承認審査におけるベネフィットとリスクの比較の考え方について講義する。
	2限 医薬品の安全性に関する判断と価値を理解するために、医薬品開発における毒性評価、安全性情報の収集と安全性評価および承認審査におけるリスクとベネフィットの比較の考え方について講義する。
	3限 新薬の早期探索的臨床試験の試験デザインや実施時期などの現状を踏まえて、効率的な臨床開発について考える。また、臨床研究を行う上で必要な倫理指針について留意事項を中心に講義する。
	4限 医薬品リスク管理計画におけるリスク最小化策の評価について講義する
令和4年 11月26日(土)	1限 医薬品の市販後の安全性を検討するために用いられる主な薬剤疫学研究のデザインについて講義する。
	2限 代表的な薬物治療について、個別化医療の観点から討議する。医薬品に係る情報をもとに臨床的に評価される投薬設計のあり方について講義する。
	3限 医薬品情報から探索される患者固有の因子について投薬への関与を評価し、投薬設計への活用について講義する。
	4限 医薬品情報を評価したうえで個別化医療を実践する手法について講義する。

(1時限9時00分～10時30分, 2時限10時40分～12時10分, 3時限13時00分～14時30分, 4時限14時40分～16時10分)